

2018（H30）年度

学校評価

2018年度「大町幼稚園 学校評価」を終えて

大町幼稚園では、学校教育法に基づいて園則に定めているとおり、昨年度（2018年度）の活動に関して学校評価を実施いたしました。ここにその結果を公表し、ご報告申し上げます。

評価に際しましては、その客観性を高めるために、まず保護者の皆さまを対象にアンケートを行い、それに「幼稚園運営」を加えて計10項目に教員が自己評価・点検をしたものをそれぞれ集計、分析し、学校関係者評価委員の方々に各項目に関して更に評価をしていただきました。

結果として、保護者の皆様および学校関係者評価委員の皆様には、本園の教育方針である「いつくしみの保育」を具現化するための教育活動に関して、自覚している以上の好意的な評価をいただき、当園に対しての皆様のご理解に対して深く感謝するとともにその評価を大変心強く思っております。

また同時に、一連の評価の中で私どもが取り組むべき今後の課題も明確になりましたので、それぞれの課題を改善するために検討を重ね、今回の評価に甘んずることなく努力と研鑽を積んで、より良い幼児教育のために一步一步進んでいきたいと考えております。今後も皆様からの更なるご指導とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年3月

学校法人信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園 大町幼稚園

園長 早川 民次

1 教育方針・教育目標の理解

◆2018年度の取り組み

- ・教育目標に基づき、各年齢の「目指す幼児像」を明らかにし、保育内容を検討する。
- ・一人ひとりの子どもの発達、個性を把握し、年齢に応じた願いを持ちながら保育をする。（保護者アンケート Q2）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.0）

- ・年齢にあった発達段階をふまえ、製作や運動あそびなどの活動を行うことができた。
- ・子どもは子どもの中で育っていくということを再認識した。
- ・子どもたちのことを考え、どうしていくか担任と補助教諭で話し合う時間が多く持てた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.80）

- ・親でも苦労するような個性のある子どもに対し、一緒に考え、対応してもらった。
- ・5歳児発達相談の時から就学に向けて、サポートが心強く、ありがたかった。
- ・年齢に応じた活動や挑戦などを通して子どもの成長を感じる事が出来た。
- ・縦割り保育で異年齢の中で過ごしたことが良い刺激になった。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.8）

- ・保護者と教師の間の意識の差が大きいように思う。
- ・子ども讃美歌を歌うことで神さまのみ言葉の種がまかれている。感謝なこと。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・大町幼稚園の教育理念を再度確認し、例年通りではなく子どもを中心に保育を考えていく。

2 キリスト教保育

◆2018年度の取り組み

- ・教育者自身が日々の礼拝やキリスト教の行事等を通して豊かな人格形成を目指す。
- ・保護者にはキリスト教保育を基盤とした教育方針をわかりやすく伝える。(保護者アンケートQ1)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 3.09)

- ・職員会時の園長先生のお話が心に留まった。
- ・日めくり聖句の言葉や、聖書のみことばに心揺さぶられる。
- ・日々の礼拝の中でわかりやすい教材を使うことを心掛けた。
- ・保育の中で礼拝を大切にしてきたためか、行事の前、誰かが病気の時など、子どもからお祈りをする姿があった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.92)

- ・礼拝や讃美歌を通して子どもにわかりやすく伝えていると思う。とても良い。
- ・卒園時ではなく入園時に聖書が一人ひとりにいただけるのは良い。
- ・「えんちょうとちょっと」に4回参加した。毎回有意義な時間を過ごしている。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.0)

- ・キリスト教を学ぼうとする教師や理解しているベテラン教師の存在が頼もしい。
- ・キリスト教を学ぼうという意欲を(教師から)以前より良く感じるようになった。
- ・自主的に教会に来てほしい。
- ・キリスト教とは?と迷いつつも、思いやりと祈りがあふれるような日常であってほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・教師の中でキリスト教保育を学ぶ機会が増えている。また、真剣に自分の物にしようとする姿が見られる。

3 少人数保育

◆2018年度の取り組み

- A. 教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。
- B. 幼稚園は遊びをとおして教師との信頼関係や友だちとのつながりに喜びを持てるような環境作りをする。(保護者アンケートQ3)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A2.72 B3.45)

- A・職員会やパート会議、朝礼のノートが情報の共有に役立っているが、連携不足と感じる部分もあった。
 - ・クラス内でトラブル等大切なことを共有する必要を再認識した。
 - ・副担任、補助が準備等をやりすぎるのはよくない。
- B・安心して表現したり、伝えていける環境を大切にしていきたい。
 - ・個性、個々のペースを大切にクラスで過ごせる環境を意識して作った。

(保護者の評価 B 4点満点中 平均点 3.80)

- B・教師と子どもの間に信頼関係が築けていると思う。園でのことを笑顔で話してくれる。
 - ・自由に遊ぶ時間をもっと増やしてほしい。異年齢で遊ぶ時間も増やしてほしい。

(学校関係者の評価 4点満点中 AB通して 平均点 3.4)

- ・チーム保育の際、クラス内での教師(担任、副担任、加配)相互の連携不足を感じる。
- ・一人ひとりのことを良く考えながらの保育ができています。加配が必要な子どもにもきちんと向き合っている。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- A・未満児クラスは他のクラスと生活リズムが違い、教室も奥まっていることから、重点的に情報を共有できるよう対応する。
- B・好きに遊べる朝の時間を、異年齢の交流と遊び込む時間として有効に利用する。

4 戸外遊びの充実

◆2018年度の取り組み

- A・戸外で友だちと思いっきり身体を動かして遊ぶことを通して元気で豊かな体力作りをする。
- B・子どもが主体的に楽しく充実した遊びができるよう戸外の環境や指導に工夫をする。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.09 B 2.63)

- A・外で身体を動かすことを目標、目的とした。
 - ・季節に合わせて野外を散歩したい。
 - ・友だち同士で鉄棒・のぼり棒にチャレンジし、高め合う姿が見られて良かった。
- B・集団遊びを重点に置き、ボール遊び、おにごっこ、縄跳びを取り入れた。ルールのある遊びをもっと取り入れたい。砂場からは特に子どもの自由な発想が見られる。
 - ・自分で遊びを見つけられない子ども、遊びこめない子どもへの指導が難しい。

(保護者の評価 保護者の評価項目の対象外)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6)

- ・特定の子どもへの支援に偏りすぎ、安全面の配慮が足りないと思う。
- ・戸外遊びの充実は大町幼稚園の特徴の一つなので、今後も充実させてほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・どのクラスにおいても外遊び、散歩を増やしていく。
- ・「子どもが、主体的に楽しく遊びこむこと」とはどういうことかを職員会で確認し、保育に活かしていく。

5 表現あそび

◆2018年度の取り組み

- A・感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む。
- B・歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。(保護者アンケートQ4)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.54 B 3.27)

- A・リズム遊びでは、子どもたちの考えや意見を積極的に取り入れた。
 - ・子どもの考えや感じたことを引き出し、保育につなげるのが難しかった。
- B・表現に関しては話し合いを大切にし、どんなことをしたいのか、どう歌おうか、子どもと気持ちを共有してきた。
 - ・加配の子どもが皆とできるように話し合いを重ね、結果が出せた。
 - ・リトミック教室、体操教室は確実に子どもたちの力になっていると実感。
 - ・製作では子どもたちが目で見てイメージ出来る方法を取ることで、伸び伸びと楽しく活動することができた。

(保護者の評価 B 4点満点中 平均点 3.82)

- B・参観や発表の時、「見に来てくれてありがとう」の言葉が嬉しかった。働いている保護者への配慮だと思った。
 - ・挑戦することがたくさんできるようになった。やってみたい、できるという気持ちをこれからも大切にしてほしい。

(学校関係者の評価 4点満点中 AB通して 平均点 3.4)

- ・子どもの考えも大切だが、どのように発達につなげるかの工夫がもう少しほしい。
- ・誕生会やクリスマス、思い出会での発表における子どもたちの表現がとても良い。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- A・よりよいサポートができるよう、教師はスキルの向上に努める。
- B・日々の生活がクリスマス会や運動会につながっている。
 - ・子どもの意欲を取り入れ、楽しく表現できている。
 - ・個性のある子どもに対し、もっとわかりやすい指導方法を学んでいく。

6 安全教育

◆2018年度の取り組み

- ・避難訓練、交通安全指導、健康安全指導、生活安全指導を通して安全に対する意識を高める。
(保護者アンケートQ5)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 3.36)

- ・毎月の訓練で「自分の身を守る」ということが習慣になってきた。
- ・教職員が「どうしよう」と悩める訓練を重ねたい。
- ・地震体験車での体験が良かった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.92)

- ・自然環境の変化や不審者情報など、子どもたちに起こりえる危険を回避できるよう、自分たちが知識と対応を備えたい。
- ・夜地震があった時、すぐ布団に隠れる事ができた。火事や地震の時は「こうするんだよ」と良く話してくれる。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6)

- ・非常時の安全だけでなく、日常活動の際の安全教育も必要ではないか。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・実際に子どもたちをどう守っていくのか各担任が自立して対応できるよう、日々努力すべき。
- ・教師のみの訓練を実施する。(アナフィラキシー、転落事故等)
- ・父母の会での街頭指導の際、送迎時の交通安全について声かけを強化していただく。

7 食育

◆2018年度の取り組み

- A・食事のマナーを通して、左右の優位性、指先の発達、姿勢の保持など体の健全育成を図る。
- B・栄養のバランスやカロリーを計算した完全給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てる。
(保護者アンケートQ6)
- C・感謝する心・畑での栽培・収穫・クッキングを通し、食材への興味と感謝の気持ちを育み、給食を喜んで食べる子どもを育てる。(保護者アンケートQ7)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.81 C 2.9)

- A・まずは食べることの楽しみを大切にし、徐々にお皿を持って食べる➤スプーン・フォーク➤箸と指導した。箸への移行については家庭との連携ができればよかった。
 - ・発達に応じた対応、加配児への指導は無理なく進められた。
- C・感謝の気持ちを育むことができた。
 - ・天候の不順と野生動物の被害、教師の知識のなさから予定していたクッキングができなかった。
 - ・自分たちで育てた野菜を食べたり、野菜の生長を自分の目で見、感じることで、苦手な野菜も食べてみようとする姿があった。
 - ・回数は少なかったがアレルギーなど充分注意をし、給食の先生に確認してもらいながらクッキングを安全にすすめることができた。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 B 4.0 C 3.92)

- B・給食のおかげで家でも食べられる食材、量ともに増えてありがたい。「給食美味しすぎる！」と言っている。
 - ・アレルギーへの対応が丁寧で感謝。
- C・畑で野菜を育て、収穫し、感謝する心が育まれたと思う。楽しんでいる様子がわかる。家でも進んで手伝ってくれる。畑での栽培は続けてほしい。
 - ・「自分たちで作った物は皆で食べる」と、幼児祝福式の日、家族皆に(わずかなものを)分けてくれた。

(学校関係者の評価 4点満点中 ABC通して 平均点3.8)

- ・給食を楽しみにしたり、作物を育てる中で食への興味を引き出す活動は評価したい。
- ・毎日の献立がアレルギーも含め、子どもたちのことを考えて作られている。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・美味しい給食を子どもたちが喜んで食べている。教師間で指導内容、ねらいを共有していく。
- ・野菜の栽培方法の検討をする。

8 家庭との連携

◆2018年度の取り組み

- ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ理解を得る。
(保護者アンケートQ8)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 3.0)

- ・クラスだよりと連絡帳、時には電話で園での様子を伝えてきた。保護者と良い関係を築けたこともあるが、「保育で大切にしていること」は伝えきれないところがあり、「伝える」ことの難しさを実感した。また、「園と家庭が連携をして」という形にもっていくことができなかった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.69)

- ・クラスだよりから日々の姿を想像することができ、子どもと話がはずむ。一週間の出来事も詳しくわかるので毎週のクラスだよりを読むのが楽しみ。
- ・学期末に聖書を持ち帰った時は驚いた。クラスでどう扱っているのか説明が欲しかった。
- ・シール帳のコメントの記載のない月が2回あった。コメントは夏休み後に書かれてはきたが、子どもは楽しみに待っているので、毎月記入してほしい。
- ・お便りで子どもの様子は良くわかるが、担任の目線、担任が一人ひとりの子どもを俯瞰的に見てどう感じているのか、どう考えているのか知りたかった。
- ・連絡帳のやりとりがもう少しあればよかった。
- ・心配事など、相談した内容について園での様子をもう少し詳しく教えてもらえると嬉しい。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.4)

- ・保護者の知りたいことと教師の伝えたいこととの差を感じる。今後の経験を積むことで慣れていってほしい。
- ・保護者の評価を見ると、教師と保護者の連携は難しいと思われた。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・保護者に伝えていくことの難しさを実感している。教師各自が抱え込まず、主任と相談しながら、保護者の思いには真摯に対応していきたい。電話を使う機会を増やし、直接話す。

9 子育ての支援

◆2018年度の取り組み

- ・未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。（保護者アンケートQ9）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点2.9）

- ・次年度入園する子どもと一緒に遊ぶことができて良かった。
- ・預かり保育の時間中、未満児は未満児のみで過ごすことにより、毎日の習慣を崩すことなく落ち着いて過ごせた。
- ・預かり保育の時間中もスケジュールが組まれていて、とても充実していると感じる。

（保護者の評価 4点満点中 平均点3.81）

- ・遅い時間まで預かり保育をしてもらい感謝。
- ・未就園児のこひつじ広場を楽しませてもらった。もっと回数があると嬉しい。
- ・夏休み中の預かり保育がとても楽しかった様子。暑い日でも園外に出かける機会（水遊び）を作ってもらえて嬉しかった。春休み中も預かり保育があると嬉しい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点3.6）

- ・未満児の一時預り、未就園児の園開放は多忙なスケジュールの中で工夫して行われていると思う。
- ・日々の預かり保育、お疲れ様。

・・・・・・・・>・・・・・・・・>・・・・・・・・>

◆改善の具体的方策

- ・各家庭の要望に全て応えることは難しかった。改善策が必要。

10 幼稚園運営

◆2018年度の取り組み

- ・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 2.9)

- ・日々の記録など、溜めてしまうことが多かった。逆に、記録や事務仕事を優先すると翌日の保育準備がぎりぎりになってしまった。要領良く、段どり良く、余裕をもってこなしたい。
- ・視覚刺激の少ないクラス環境を作った。
- ・掃除も大切な仕事。行事の前だけではなく日々行うべき。

(保護者の評価 保護者の評価項目の対象外)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6)

- ・担任は若く、経験も少ない中で、精一杯取り組んでいることを認め、今後に期待したい。
- ・教師は毎日朝早くから夜遅くまで本当に大変だと思う。少しでも早く帰れるような環境作りをしてほしい。
- ・全体を通して・・・

先生方皆が日々心をこめて過ごしていることに頭が下がる。この評価のそれぞれの項目に課題があるようなので「1 教育方針・教育目標」以外は「3点」を付けたが、その年、その年のやり方があっていいと思う。その中で変わらないものが守られて、大町幼稚園の希望が受け継がれていくように願っている(クリスマスページェントへの憧れのように)。情報があふれた難しい時代だが、子どもたちと先生方の目の輝きが守られるように祈っている。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・週案と日誌が保育の振り返りとして機能するよう、各担任が書きやすい様式、管理法を模索したい。